

やけのそよ風



No.19

令和4年 10月 19日
大阪市立焼野小学校
校長 川辺 智久

きれいな環境がもたらす効果

年間約 3000 万人が訪れ、リピート率が 90%を超える東京ディズニーリゾート。実は、清掃をとっても重視しているそうです。多くの清掃スタッフが 24 時間体制でパーク内を巡回しています。また、パーク内のわずかな傷を放置せず、ペンキの塗り直しや破損箇所を見つけ次第すぐに対応しています。パーク内



が常にきれいな状態だと、「ゴミをポイ捨てしてはいけない」「分別に協力しないといけない」という空気をつくり上げることにつながり、割り込みなどのマナー違反も少なくなったそうです。

ゴミの管理や清掃は、防犯の観点から非常に大切だと言われています。街の治安向上に関する有名な話に、元ニューヨーク市長ジュリアーニの取り組みがあります。ジュリアーニが市長に就任した当時、ニューヨークでは重大犯罪の発生件数が多く、治安が問題視されていました。そんな街を変えるべく市長が行なったのは「街の建物や地下鉄の駅の割れたままになっている窓を徹底的に修理すること」「街の落書きを徹底的に取り締めること」でした。この取り組みを行った結果、重大犯罪を 75%も削減することができたそうです。軽微な犯罪やマナー違反を徹底的に取り締めることで、「この街は人の目が行き届いている」という意識を植え付け、犯罪が許されない雰囲気のある街を形成していくことができます。これは、アメリカの犯罪学者ジェームズ・ウィルソンとジョージ・ケリングが提唱した理論で、「割れ窓理論」と言います。普段過ごす環境をきれいにすることは、人々の心をきれいにする効果もあるのですね。

本校では時々、地域住民の方から「公園で、お菓子などのごみのポイ捨てが気になる」と連絡をいただくことがあります。小学生が捨てたということも大いに考えられ、学校でも折にふれて指導しています。

そんな中、本校では、今年度「たてわり地域清掃 ～Yakeno クリーンデイ」を初めて計画しました。11月26日の土曜授業と、1月の2回計画しています。

この「たてわり地域清掃」を通して、自分たちが利用している公園は自分たちできれいにしようとする意識が芽生え、自分で出したごみは自分で持って帰ることを当たり前にする子ども、また、公園に落ちているごみを見つけたら、誰に言われるでもなく、進んで拾う子どもが増えてくれたら、と思います。

普段過ごす環境をきれいにすることで、自分だけでなく、周りの人も気持ちがよくなります。学校でも、学校の外でも、自分たちだけでなく、みんなが気持ちよくすごせるよう、相手や周りの人を大切に考えて、心遣い、心配りができるやさしい子どもたちであってほしいと思います。

「たてわり地域清掃 ～Yakeno クリーンデイ」(予定)

- ・日時・・・各学年1組→11月26日(土)(予備日11月30日(水)) 9:40～10:25
各学年2組→1月25日(水)(予備日1月31日(火)) 9:40～10:25
- ・場所・・・焼野住宅1号棟前、焼野住宅2号棟と3号棟の間、焼野さくら公園
焼野南公園 焼野公園 学校周辺(北側通路も) 計6か所